

大学の世界展開力強化事業 構想概要 関西学院大学

【構想の名称】(タイプB-Ⅱ)

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」

【構想の概要】

本学とカナダの3協定大学が連携し、異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与するリーダーシップを持つ世界市民を育成するために、「クロス・カルチュラル・カレッジ」を共同で構築する。

■ プログラムの目的・養成する人材像

○ 世界市民リーダーを養成

多文化共生社会・カナダの3大学、マウント・アリソン大学、トロント大学、クイーンズ大学と本学が共同でCross-Cultural College (CCC)を構築し、豊かな国際コミュニケーション能力、論理的かつ実践的な分析力、国際的な場での高度な課題発見・解決能力、多文化環境を越えた国際理解力・行動力を備えた人材の養成に向けて協働する。

○ Cross-Cultural Studiesをテーマとした学士レベルの協働教育プログラム

CCCは、両国の学生が日加を行き来しながらともに学ぶ”Certificate Program (CP)” (使用言語は英語)と本学学生を主対象に、CPへの参加を可能にする基礎的な知識や国際経験、英語能力を涵養する”Multidisciplinary Studies Program (MDS)” から構成されており、CPで所定の要件を満たした学生にはCCCから修了証書を、これに加えてMDSでも所定の要件を満たした学生には本学から複数分野専攻制修了証書を授与する。

(マウント・アリソン大学)



■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

CCCには各大学代表からなる共同運営委員会と、その下に各大学の教務担当者からなる共同教務委員会を設置する。共同教務委員会はカリキュラムの構成や授業内容を共同で検討、実施する。協働で開発する科目については統一的なガイドラインを設け、授業内容の定期的な点検と自己評価を行う。さらに、実社会のニーズを反映した実践的な教育の質を保証するため、産業界や行政等の外部識者からなるアドバイザリーボードを設け、共同運営委員会に対して助言・講評を行う。

(トロント大学)



■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ ホームページで情報発信、他大学の参加も視野に

本構想における取組は、日英両言語で積極的に発信する。独自のホームページを立ち上げ、教育プログラムの内容のほか、活動の報告も逐次掲載する計画。日加両国の学生に十分な情報を提供するとともに、他大学の良い参考となることをめざす。また、対応可能な科目から順次、他大学学生の参加を可能にし、将来的には他大学学生もCPの修了証を取得できる体制を整備する。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 日本人学生の派遣

本学は学業生活や就職活動に関する情報はすべてインターネット上で提供しており、学生は留学中も問題なく情報にアクセスすることができる。また、本教育プログラムにおける派遣学生の募集にあたっては、カナダ側3大学との綿密な情報交換・調整のもと、ホームページに詳細情報を掲載するほか、説明会や相談会を複数回実施し、個別相談にも随時応じる。

○ 外国人留学生の受入

本学国際教育・協力センター留学生総合支援課が一元窓口となり、本構想の推進室や学内他部署、学外諸機関と密接に連携しながら外国人学生の受入から学生生活、キャリア支援に至るまで適切なサポート、サービスを総合的に提供する。また、本学トロントオフィスに常駐する職員が、適宜カナダ側学生に情報提供し、相談に応じる。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 多様な交流プログラムで日本とカナダの学生が共に学ぶ

CPでは、実践の場で日加の学生が交流しつつ学ぶことを重視。産業界と連携した科目の例に、日加の学生がペアで就業体験を行う「グローバルインターンシップ」のほか、産業界が提示した課題を日加の学生がチームを作って分析し、解決策を企業へ合同でプレゼンテーションする「グローバルキャリアゼミ」がある。また、日加それぞれ約20人の学生が両国で各2週間滞在し、多文化共生をテーマにフィールドワークやグループ発表を行う「ジョイントセミナー」も実施する。

○ 日本人学生の派遣

本学では現在年間800人の学生が留学している(うち400人の留学先がカナダ)。このうち約60名がMDSプログラムを受講し、その後45名がCPIに参加することを想定してプログラムを設計しており、平成27年度までに延べ150人程度を派遣する。

○ 外国人留学生の受入

上述の日加協働型科目のほか、カナダ側学生を対象とするアジア研究サマーコースも実施。日本語学習のほか、英語で日本やアジアについて学ぶ機会を提供する。平成27年度までに延べ180人以上を受け入れる予定。

<2011年11月現在の計画>

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	8人	20人	20人	45人	45人
学生の受入	0人	45人	45人	45人	45人